

『虫を捕らえて生きる。食虫植物』 <トウカイコモウセンゴケ>

高さ5~15cm程度の多年草、食虫植物で葉の表には粘り気のある腺毛が密集し、そこにとまって動けなくなった昆虫などを消化して栄養分とします。花は、淡紅色で径1cm程度、茎の上部に2~10個程度がつきます。花のついている部分は、はじめ、渦状に巻いており、開花するにしたがって立ち上がってきます。トウカイコモウセンゴケは、モウセンゴケとコモウセンゴケの中間的な形をしており、判別が難しいので様々な議論がありました。現在は独立の種と判断されています。絶滅危惧Ⅱ類に属する植物です。

丘陵帯の山間部にある日当たりのよい酸性土壌の湿地を好み、岐阜県では、東濃湿地帯の東濃西部に主に生育しています。陶史の森もこの湿地帯の一部で数少ないトウカイコモウセンゴケの生育場所となります。生育環境となる湿地の減少、人間の生産活動による丘陵地の開拓により、生育環境が明らかに悪化しつつあり、個体数が大幅に減少してきています。陶史の森の中では、トウカイコモウセンゴケは、日当たりのよい山裾から水がにじみ出ているような特殊な湿地に生育しています。貴重な森の自然環境を大切にしていきたいと思えます。



 森の日記

「あっ、あの鳥は…?」

5月26日(日)

5月26日(日)に本年度第2回バードウォッチングが開催されました。陶史の森では毎月第4日曜日に開催しています。今回は、コゲラ、センダイムシクイ。サンショクイ、メジロ、ヤマガラ、キジバトなど合計23種類の野鳥を観測できました。森を歩きながら野鳥の鳴き声を聞き、立ち止まって野鳥の姿を探し、説明も聞きました。とても、楽しい一時となりました。



 教室のご案内

7月

草花標本作り教室 (要申込、定員20人)

7月7日(日) 午前9時~11時30分

植物を観察・採集して標本を作ります。

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

7月28日(日) 午前9時~11時30分

夏の野鳥を観察します。

8月

川の生き物教室 (要申込、定員20人)

8月4日(日) 午前9時~11時30分

川の生き物の観察と飼育方法を学びます。

※ぬれてもよい服装で参加してください。

夏の天体教室 (要申込、定員20人、雨天中止)

8月24日(土) 午後7時30分~8時30分

夏の天体を観測します。※集合場所 第2駐車場

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

8月25日(日) 午前9時~11時30分

夏の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

